

地域振興グループ

地域振興グループの質問を始めます。

私たちのグループは、地域を盛り上げる取り組みについて話し合いました。

このことについて、2つの質問をしたいと思います。

質問1 過疎地域の活性化について

広島県の人口は全国12位で多いほうですが、一方で、県内23の市町のうち16市町が過疎地域に指定されており、全国でも多くの過疎地域を抱える県となっています。

過疎地域の豊かな自然は、農産物や魚介類の生産地として県全体の発展を支える存在ですので、守らなければならないと思います。

県も中山間地域振興計画を策定し、地域の暮らす人々が笑顔で幸せな生活を送るためのさまざまな取り組みが行われていると聞いています。

私たちは、過疎化を進めないためには、今いる若者をできるだけ引きとめる必要があると考えました。

過疎地域には就職先が少ないと言われており、広島市や県外で就職する人が多くいます。

そこで、1つ目の提案です。

小学校段階から長期にわたり地元企業と交流する場を設けてはどうでしょうか。小中学生では、職場体験を中心に、地域の企業やそこで働く人々のすばらしさを発見する取り組みを、高校生・大学生では、就職を目的としたインターンシップなどを行います。地元企業と交流を深めることで地元への愛着や誇りを持つことにつながり、地元就職の可能性もふえ、人口減少を抑えることができると思います。

また、都会から若者たちを呼び込み、住んでもらうことも重要です。

そこで、2つ目の提案です。

過疎地域に関心を持ってもらうため、若者向けの田舎ツアープランをつくってはどうでしょうか。このツアーの特徴は、過疎地域に住む若者が中心となってつくるところにあります。若者の視点でつくことで、隠れた名所や特産品などを再発見でき、都会の若者が関心を持つようなさまざまな遊び方や楽しみ方を提案することで、魅力的なプランになると思います。

3つ目の提案として、働き場所をふやすため、過疎地域で会社を立ち上げる人を支援してはどうでしょうか。市町で助成しているところもありますが、過疎地域で会社を立ち上げることは大変厳しいことだと思いますので、県が相談に応じたり、補助金を出したり、市町が土地を提供するなど、手厚く支援するのです。企業が大きくなれば働きたい若者がふえ、地域も活性化すると思います。

答弁（知事）

広島県の過疎地域は、全国に比べて、集落の小規模化や高齢化が大きく進んでおり、担い手不足による農林水産業の衰退や、空き家・耕作放棄地の増加など、さまざまな課題に直面しています。

こうした中、県では、過疎地域を含む中山間地域を県民共有の財産として未来に引き継ぐため、広島県中山間地域振興計画を策定し、中山間地域の価値を大切にしたいと思う特に若い世代を呼び込むこと、地域の資源や特性に光を当て強みとして積極的に生かすことを基本にさまざまな取り組みを行っているところです。

まず、小学校段階から長期にわたり地元企業と交流の場を設けてはどうかという御提案ですが、地域の産業を知り、愛着を抱いていただく上で、とても大事な取り組みであると考えています。

このため、地元企業での職業体験として、小・中・高校生を対象とした職場見学や社会人との対話、高校生を対象とした企業の出前講座、大学生を対象とした企業へのインターンシップや企業見学会などを行っているところです。

次に、過疎地域に関心を持ってもらうための若者向けのツアープランをつくってはどうかという御提案ですが、これまで、地域の若い世代の人たちが中心となって、都会に暮らす若者と地域の人たちとの交流や、地域ならではの体験ができるツアーなどを企画し、現在までに約180人の都会の若者が中山間地域を訪れ、その地域のよさや新しい魅力を紹介するプランづくりに取り組んでいます。

また、東京にも窓口を設けて、広島県への移住に関する相談や、広島県の暮らしの魅力の紹介などを行い、移住希望者に対するきめ細かいサポートを行っているところです。

次に、過疎地域で会社を立ち上げる人を支援してはどうかという御提案ですが、現在は、ひろしま創業サポートセンターを開設し、会社のつくり方や商品の売り方などの相談への対応、お店の運営の仕方などのセミナーの開催、先輩経営者や税理士など

の専門家の派遣などを行っているところです。

また、中山間地域で活躍する人材を育成するためのひろしま「ひと・夢」未来塾では、今年度から、会社の立ち上げや事業の拡大に必要なノウハウを学べる起業準備コースを開講したところです。

御提案のとおり、こうした取り組みを、今後もさらに継続、発展させていくことで、地域で暮らす人々が将来に向かって笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域の実現を目指していきます。

皆さんにも、これを機会に中山間地域の魅力に触れていただき、これからもいろいろなことをしっかりと学んでいかれる中で、中山間地域の将来を一緒に支えていくことができることを願っています。

質問2 健康で生き生きとした広島県づくりについて

厚生労働省の資料によると、2016年の広島県の健康寿命のランキングは、男性は全国27位、女性は46位とかなり低くなっています。単に長生きするだけでなく、健康でいきいきと暮らすことを目標に、このランキングを少しでも上げていかなければならないと思います。

そこで、1つ目の提案です。

広島県を健康食の一大拠点としてはどうでしょうか。広島県は、レモンや広島菜、クワイ、キャベツ、カキなど、健康によいとされる食材に恵まれています。

こうした食材を使い、ほかの県にない健康食を私たちが家庭科の授業などで考えてメニュー化します。つくったものは給食で出したり、レシピをインターネットで広めたりします。自分たちでメニューを考えることで、健康的な食生活を心がけるようになりますし、将来的に健康寿命を延ばすことに役立つと思います。さらに、この健康食を県内のいろいろな店に取り入れてもらい県外の人にアピールすることで、広島に行けば健康になるというイメージにつながり、広島を訪れる人もふえると思います。

健康寿命を延ばすには、心の健康も重要です。日本の会社は長い時間働くことを前提にしているところが多いと聞きます。仕事の責任を果たす一方で、みんなで分担して残業をできる限りゼロにしたり、休みをとりやすくしてリフレッシュする時間を持つるようにする、つまり、ワーク・ライフ・バランスを進める必要があります。

しかし、会社任せではなかなか進まないと思います。

そこで、2つ目の提案です。

ワーク・ライフ・バランスを推進している会社で、すぐれた取り組みには表彰や助成をしてはどうでしょうか。また、そうした会社を学生などに広く紹介してはどうでしょうか。学生が会社を選ぶ時に参考にするようになり、そうすると、ワーク・ライフ・バランスを推進する会社もふえていくと思います。そして、ワーク・ライフ・バランスが進むことで、心も体も健康で、生き生きと過ごすことができ、健康寿命のランキングを上げることにつながります。さらに、若い世代が広島県に住んでみようという気持ちになり、活気が出ると思います。

答弁（商工労働局長）

1つ目の提案であります広島の食材を使った健康食についてお答えします。

まずは、広島の食材についてよく勉強していただいていることに感謝いたします。

健康で生き生きと暮らすためには、皆さんから御提案いただいているように、健康的な食生活を心がけることはとても大事なことでと考えています。

このため、県民の皆様が、適切な食生活によりいつまでも健やかな生活を送ることができるよう、野菜をたっぷり使ったり塩分を控えめにしたヘルシーメニューを提供する食生活応援店や、家で作る場合の減塩レシピなどを県のホームページで発信しています。

また、教育委員会では、ひろしま給食100万食プロジェクトにおきまして、広島ならではの給食メニューを開発し、学校、家庭、地域が一体となって食育を進めています。

今年度は、食と健康をテーマに地域の食材を活用したレシピ等を募集したところ、小中学生を含め、県民の皆様から多くの応募をいただき、優秀レシピ作品をひろしま給食メニューとしてひろしま食育ウィークに県内の全給食実施校において提供するとともに、ホームページでレシピを公開しているところです。

御指摘の点は大変重要ですので、今後とも、こうした取り組みを通じて、健康的な食生活の普及に取り組んでまいります。

次に、ワーク・ライフ・バランスの充実についてお答えします。

全ての人が生きがいや達成感を持って仕事に取り組みながら、健康的に暮らしを楽しむことができる生活を実現するためには、ワーク・ライフ・バランスの浸透、定着が必要であり、そのためには、企業における働き方改革を進めていくことが大事であると考えております。

このため、本県においては、経済団体が働き方改革に取り組むすぐれた企業を広島

県働き方改革実践企業として認定しており、県は、その優良事例をホームページに掲載するなど、県内企業への普及に向けて広く情報発信しています。

また、子育て中の男女がともに働きやすい職場環境づくりへの支援として、男性従業員が育児休業を取得した企業に対する奨励金の支給も行っています。

御提案いただいた、学生等へのすぐれた取り組みを行っている会社の紹介につきましては、就職先の選択の参考になるとともに、企業においても優秀な人材を確保する上で有効であるため、大変重要な視点であると考えております。

このため、本県では、働き方改革の認定企業をPRする動画を、YouTubeなどインターネット上で配信するほか、就職説明会などにおいても紹介するなど、就職を目指す学生にすぐれた取り組みを実践している企業を広く知ってもらおうと取り組んでいるところです。

今後とも、御提案いただいた趣旨も踏まえ、県内企業におけるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みが進み、就職先として学生にも選ばれる企業がさらに増加するよう、働き方改革を進めていきます。